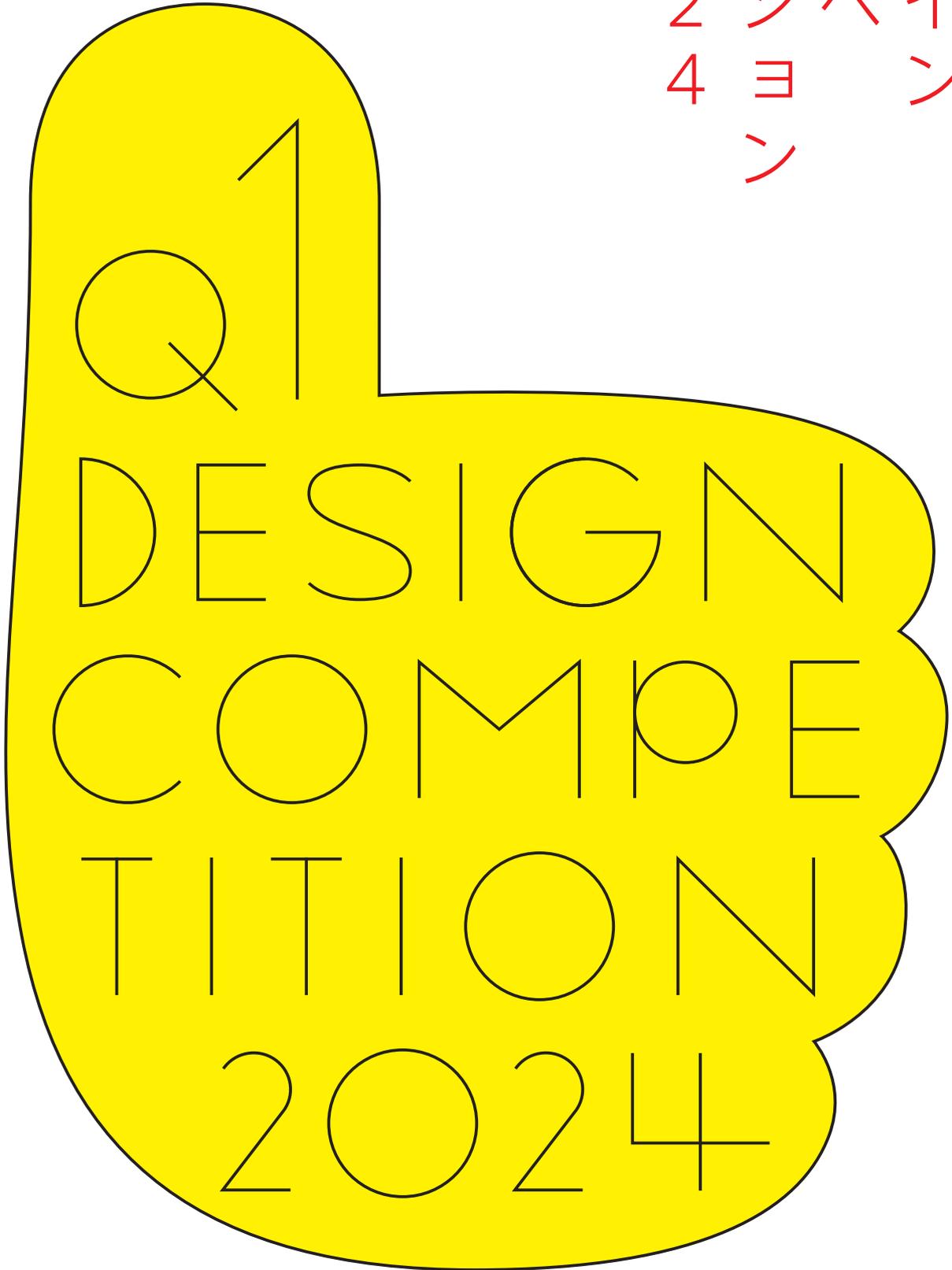


Q1
デザイン
コンペ
ティション

〈テーマ〉
街に
置く
ベンチ



〈THEME〉

CITY BENCHES FOR PUBLIC SPACES
IN COLLABORATION WITH Y.D.K



街に置くベンチ

Q1 デザインコンペティション

(THEME)

CITY BENCHES FOR PUBLIC SPACES IN COLLABORATION WITH Y.D.K

想像して欲しい。

街路樹の木陰にポンと置いてある。散歩中の人々が腰掛けて休んでいる。縁台にして将棋を打っている。それを中心にして小さな宴会が始まっている。どんな街にもありそうな風景だけど、現在の日本にそれはあるだろうか？ベンチは世界中のどこにでもあり、有史以来、存在している。とてもシンプルで、普遍的で、多義的なプロダクト。街がベンチで溢れると、人々はずっと外に出て、歩き、会話をする。小さなベンチが、街の風景と人々の行動を楽しく変えてゆく。そんなベンチのデザインを募集します。

●テーマ

街に置くベンチ

●各賞

最優秀賞(1点): 30万円
優秀賞(2点): 各10万円
Q1賞(2点): 各5万円

(※最優秀賞作品は家具製作会社の協力のもと実際に製作し、やまがたクリエイティブシティセンターQ1館内にてテストマーケティングを行った上で、商品化を予定しています ※応募内容によっては「該当作品なし」とさせていただきます ※賞金は源泉税、復興特別所得税などの税金を控除した金額をお支払いします)

●応募資格

企業、団体あるいは個人やグループ、年齢、性別、職業、国籍は問いません。ただし、「公開審査(2025年1月下旬予定)」にてプレゼンテーションできる方に限ります。(※交通・渡航費、宿泊費の実費は、各自負担をお願いいたします)

●応募点数

制限なし(※応募作品は国内外未発表のものに限ります)

●スケジュール

【応募登録】2024年9月21日(土)12:00～11月1日(金)17:00まで(※締切厳守)
【提案書提出】2024年11月8日(金)9:00～12月2日(月)17:00まで(※締切厳守)
【一次審査】2024年12月初旬・非公開(※一次審査通過作品は、家具製作会社により実際にサンプルを製作いたします)
【公開審査】2025年1月下旬・一次審査通過者に別途通知(※応募者が審査員に対し公開プレゼンテーションを行ない、即日各賞が決定します)



●応募登録方法

応募フォームにて受付(※左の二次元バーコードを読み取り、WEBサイトにアクセスください)

●提案書提出

応募フォームにて応募登録の後、提出期間内に以下の内容の提案書を提出ください。提案書は、A3サイズ横1枚に下記をまとめ、メールでのデータ提出とします。(提出先メールアドレスは、応募登録後にお伝えします) / 1. コンセプト / 2. 図面1/10(平面図・立面図・側面図・断面図) / 3. 寸法表記 / 4. 仕様表記(樹種・塗装種類・他仕上げ) / 5. 金物の有無(脚・補強程度) / 6. その他必要な情報(※使用言語は日本語とすること ※応募者が特定できる名前、団体名、記号等は提案書に記載しないこと ※提案書のデータ容量は5MB以下とし、PDFデータに変換して提出すること)

●審査のポイント

1. 販売を前提とした寸法であること / 2. 流通を意識した製作工程、期間とすること / 3. 一次審査通過作品は実際にサンプルを製作するため、寸法・仕様・納まり等、わかりやすく表記すること

●審査結果発表

一次審査結果は通過者へメールにて通知。最終結果はQ1 Webサイトに掲載。

●注意事項

応募作品の知的財産権は原則として応募者に帰属します。/ 応募作品の展示や印刷物への掲載、広報に関する権利は主催者側にあります。/ 受賞作品が商品化される場合、ロイヤリティ・契約方法等は株式会社Q1、協賛企業と協議の上、決定いたします。/ 一次審査通過作品はサンプルを製作いたします。/ 製作したサンプルは、協賛企業の所有とします。/ 応募作品が既発表のデザインと同一又は酷似している場合、応募や受賞を取り消します。また、第三者の権利侵害等のトラブルが発生した場合、主催者は責任を負いません。

●質疑等

質疑は以下のメールアドレスにて受付いたします。hello@qichi.jp(※件名「Q1デザインコンペ2024質疑」と記載し、本文には氏名・連絡先を記載してください ※質疑内容によってはお答えできない場合がありますので予めご了承ください)

●審査員

芦沢啓治(建築家)

あしざわ けいじ / 芦沢啓治建築設計事務所主宰 / 2005年より「芦沢啓治建築設計事務所」主宰。「正直なデザイン/Honest Design」をモットーに、クラフトを重視しながら建築、インテリア、家具などトータルにデザイン。東日本大震災の復旧から生まれた「石巻工房」のファウンダーも務める。近年はTRUNK(HOTEL)YOYOGI PARKなどが竣工し、国内外の建築やインテリアプロジェクト、カリモク家具やKOKUYOなど家具メーカーとのデザインも手掛ける。



鈴野浩一(建築家)

すずの こういち / トラフ建築設計事務所共同主宰 / 2004年に禿真哉(かむろ しんや)とトラフ建築設計事務所設立。建築の設計をはじめ、インテリア、展覧会の会場構成、プロダクトデザイン、空間インスタレーションなど多岐に渡り、建築的な思考をベースに取り組んでいる。主な作品に「港北の住宅」「空気の器」「Big T」「TOKYOBIKE TOKYO」など。



結城美根子(家具職人)

ゆうき みねこ / 株式会社Y.D.K / 宮崎県生まれの南国育ち。大学で建築を学び、建築現場、内装設計業の仕事に従事。北欧で経験した家具修復に感銘を受け、その後日本の家具工房にて家具職人の道へ。株式会社Q1との共同プロジェクト「neighbor」シリーズをデザイナー兼職人として手がける。



中山ダイスケ(アートディレクター)

なかやま だいすけ / 東北芸術工科大学学長 / 株式会社 daicon 代表取締役。2018年より東北芸術工科大学学長。2020年より株式会社Q1取締役。ファッションショーの演出や舞台美術、店舗や商品などのアートディレクション、商品デザインやコンセプト提案など様々な分野のクリエイティブを手がける。主な作品に山形食品果汁ジュース「山形代表」、JAおきたま「やまがたグミ」、JAL国際線「若手シェフ機内食シリーズ」、リンパル「日本の極み」パッケージ、築地本願寺クリエイティブなど。



馬場正尊(建築家)

ばば まさたか / 株式会社Q1代表取締役 / 2003年にOpenAを設立。同時期に「東京R不動産」を始める。建築設計・リノベーション(建築の再生)を専門とする。主な作品に、「Under Construction」(2017年)、「旧那古野小学校施設活用事業」(2019年)など。2015年より公共空間のマッチング事業「公共R不動産」立ち上げ。2020年に株式会社Q1設立。近著に『民間主導・行政支援の公民連携の教科書』(学芸出版、2019、共著)、『テンポラリー・アーキテチャー: 仮設建築と社会実験』(学芸出版、2020、共著)など。



主催: 山形市、株式会社Q1
協賛: 愛和建設株式会社

やまがた
クリエイティブシティセンターQ1
〒990-0043
山形県山形市本町1-5-19
(山形市立第一小学校旧校舎)
開館時間: 9:00-22:00
休館日: 年末年始(臨時休館あり)
TEL. 023-615-8099
FAX. 023-615-8098
E-mail. hello@qichi.jp

Q1
YAMAGATA
CREATIVE CITY
CENTER Q1

